

2020年度前期（第12期）

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム

駒澤大学 学内募集要項

2020年度前期（第12期）官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～募集要項に従い、下記の通り、駒澤大学内における取りまとめを行います。申請は「個人」単位となりますが、学内において申請プログラムや申請書類の確認を行った上、日本学生支援機構（以下、機構）に申請書類を提出します。

1. 募集要項

募集の趣旨、要件等の詳細は、公式ウェブサイトから、「第12期 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～募集要項」、「応募の手引き」等を必ずお読みください。（下記 URL を参照）

<https://www.tobitate.mext.go.jp/univ/program/>

2. 応募方法

本プログラムへの応募については、下記①～④のとおり実施してください。

① 申請書類提出：2019年7月1日（月）～ 2019年9月6日（金）17:00まで

下記書類をすべて印刷したものを、国際センターに提出してください。書類の不備や不足がないよう、申請者本人が責任を持って書類を確認してください。

◎以下の書類を、国際センター（深沢キャンパス2F）に提出してください。

- 1) トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム（第12期）申込書兼家計状況調査（留学相談室にて配布）
- 2) 2018年分の父母両方の収入を証明する書類一式（所得証明書、確定申告書（控）のコピー、源泉徴収票等）

【重要】「家計状況調査票」及び「収入を証明する書類一式」について

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムでは、原則として機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たすことが本制度で支援する派遣留学生の要件の一つとなっています。収入・所得の目安はおよそ次の金額以内です。

世帯人数	通学形態	給与所得者	給与所得以外
3人	自宅	1,059万円	651万円
	自宅外	1,106万円	698万円
4人	自宅	1,143万円	735万円
	自宅外	1,190万円	782万円
5人	自宅	1,408万円	1,000万円
	自宅外	1,502万円	1,094万円
大学院生	修士課程	本人及び配偶者の収入 536万円	
	博士課程	本人及び配偶者の収入 718万円	

- ・ 給与所得者：源泉徴収票の支払金額（税込）、給与所得以外：確定申告書等の所得金額（税込）が対象です。
- ・ 学部生の場合は、世帯人員、就学者の有無等によって異なりますが、家計支持者（父母または父母がいない場合は変わって家計を支えている人）の収入金額が対象です。
- ・ 大学院生の場合は、本人の収入（定職、アルバイト、父母等からの給付、奨学金等）と配偶者の定職収入金額の合計額が対象です。
- ・ 第二種奨学金の家計基準を満たすかどうかは、提出された「収入に関する調査票」及び「収入を証明する書類一式」に基づき、国際センターにて判定します。
- ・ 第二種奨学金の家計基準を満たさない場合でも出願は可能（オープンコース募集要項参照）ですが、支援予定人数の1割程度のみが支援され、奨学金は一律6万円/月、その他支援内容は家計基準を満たす学生と同様となります。

家計基準については、「出願時現在における家計の収入状況が一年間続いた場合」を想定して判断いたします。

2019年1月2日から出願時点までに就職または転職した場合、雇用形態が変更された場合（退職を含む）は、「給与支払い・見込証明書」の提出をしてください。

※申請書類の「収入を証明する書類一式」は入手に時間を要する可能性がありますので、早めに入手手続きをしてください。

② 大学から応募コース(家計の判定結果とキーコード)を受け取り、オンライン上でアカウント登録及び留学計画書の申請：**2019年7月1日(月)～2019年9月9日(月)23:59まで**

上記①完了後、順次メールにて「キーコード」と「コース名(家計の判定結果)」をお知らせいたします。

キーコード受取後、オンライン上でアカウント登録・留学計画書の申請を開始してください。

■本人認証 ■基本要件をチェック ■キーコードを使ってアカウント登録 ■留学計画入力 ■自由記述アップロード

※この期日以降の、キーコードの発行、アカウント登録及び留学計画書の申請は一切認めません。

③ 留学計画書添削期間：国際センターによる留学計画書の添削・アドバイジング結果の差し戻し：

留学計画書の申請(②)～2019年9月17日(火)17:00まで

※国際センターから応募者へ上記期間中に順次連絡します

上記②完了後、10月1日(火)17:00までに国際センターによる留学計画書の添削・アドバイジング結果をオンライン上で確認してください。差し戻しの連絡はメールで通知されますので、こまめにメールチェックを行い、速やかに確認してください。

留学計画書の指導は下記要領に従います。

- **留学計画書の指導を受ける前に、必ず「P3～【駒澤大学版】留学計画書の作成について」を熟読してください。** 留学計画を立てる上で必要な情報が記載されています。
- 留学計画書の指導では、提出された書類を基に、留学計画書に必要な情報が記載されているか、留学計画について熟考されているか(実現可能な留学計画か)、相手に伝わるわかりやすい文章を心がけているか、等について確認し、アドバイスやフィードバックをします。合格を保証するものではありません。

④ 国際センターによる添削内容を反映させ、留学計画書を再度申請：

国際センターから差し戻し連絡後～2019年9月23日(月)23:59まで

上記③のとおり、国際センターによる添削・アドバイス内容を反映させ、再度オンライン申請を行ってください。

なお、この期間に提出したものは、原則として変更は認めません。ただし、国際センターにて修正が必要と判断した場合に、再度差し戻しをすることがありますので、その場合は速やかに応じてください。

3. 本制度への応募に係る相談

- 必ず提出期間内にアカウント登録し、留学計画書の内容についての指導を受けてください。留学計画の指導を受けていないものや期間を過ぎて提出されたものは、いかなる理由でも応募を受け付けません。
- **本制度への応募に係る相談は、留学相談室(3号館5Fレクチャーラウンジ2)での個別相談、もしくは下記国際センターのメールアドレスへのメールのみで受付けます。(電話でのお問い合わせはご遠慮ください)**
- お問い合わせ内容によっては、機構やトビタテ事務局に確認の必要があるため、返信に時間を要する場合があります。締切り直前にお問い合わせいただいても対応できない可能性があります。また、留学相談室は長期休暇期間中閉室します(閉室日程は下記参照)ので、申請に係る質問については早めにお問い合わせください。

問合せ先

➤ **留学相談室(駒沢キャンパス3号館5階)：**

月～金(祝日を省く)11:00-13:00/14:00-17:30

事前に個別相談予約をするか、開室時に直接お越しください(事前予約はこちらのQRコードから⇒)

※2019年前期の開室は**7/25まで**！お早めに一度相談にお越しください。

(長期休暇期間(7/26～9/16および1/21～4月新学期開始)は閉室します。)



予約フォームQRコード

➤ **国際センター事務室(深沢キャンパス2F)：**tobitate@komazawa-u.ac.jp

問い合わせはメールのみとなります。件名に必ず【トビタテ12期、氏名、学生番号】と記載すること。

送信元不明の場合は回答不可。

※2019年8月10日(土)～2019年8月18日(日)は夏季一斉休業期間のため、

お問い合わせへの回答は2019年8月19日(月)以降となります。

【駒澤大学版】留学計画書の作成について

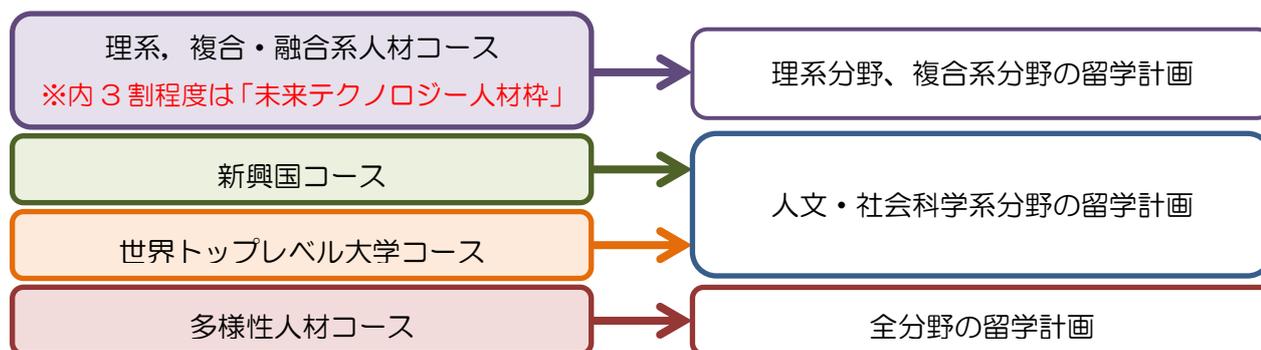
トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムの最大の特徴は、留学計画を自分自身で考え、実現に向けて進めていくことです。従来の交換留学や大学で実施しているプログラムの枠にとらわれず、自身の将来の目標やビジョン実現に向けた留学を計画することができます。ただし、留学計画に ①受入先機関があること、②学修活動が含まれていること、③安全性の確保が確認できる計画であること、を大学が承認する必要があります。

① 留学計画書を作成する

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム募集要項でプログラムの目的や主旨を理解し、学内提出物やスケジュールを大学が公開する募集要項で確認してください。



② 応募するコースを選択する ※大学の所属分野ではなく留学計画の分野でコースを選択



「海外初チャレンジ応援枠」について

海外への渡航経験が2～3週間程度の人に対し、海外留学のチャンスを提供するための枠です。支援予定数全体の2割が対象となります（上記いずれのコースでも応募可能）。海外初チャレンジ応援枠の場合、3か月未満（28日以上）のプログラムでも応募可能で、将来の計画よりも留学したいという熱意で留学計画書が審査されます。ただし、海外への渡航経験が短くても、この枠で応募しなければならないというものではありません。

③ 書類審査や面接で問われるポイントを確認

【ポイント①】 自分の夢や留学への想いを、「自分の言葉」で表現できているか

あなたは、なぜ留学したいと考えましたか。挑戦したいことは何ですか。その目的は何ですか。なぜ、あなたが

日本代表に選ばれる必要がありますか。自分自身を見つめ直し、自分にしかないエピソードを語りましょう。

【ポイント②】 留学の目標・アウトプットが明確に設定できているか

達成したい目標はありますか。実現したいアウトプットは何ですか。どうしたらそれを「達成できた」といえますか。客観的にみても評価ができる、留学のゴールを設定しましょう。

【ポイント③】 実践・挑戦的な活動内容が盛り込まれているか

座学だけではない、「実社会との接点」を意識した活動内容が含まれていますか。

例えば、インターンシップ・フィールドワーク・ボランティアなど、実践経験を前提とした活動内容を指します。受入れ機関は未定でも構いませんが、必ず具体的な内容を盛り込みましょう。

【ポイント④】 留学経験をどのように社会へ還元できるか

この奨学金は、留学することを最終目的としたものではありません。あなたの留学経験を、どのように世の中に発信し、どんなインパクトを与えることができますか。

【ポイント⑤】 留学計画を実行する意欲と意思が伺えるか

留学計画のための情報・スケジュールは徹底的に調査しましたか。いわゆる「机上の空論」、「理想論」になっていませんか。実現するために必要なこと、しっかり理解できていますか。計画というのは、あなたが思っているより順調に進まないものです。万が一うまく計画が進まなかった場合の代替案もしっかり熟考しましょう。未定でも構いませんが、応募時に以下の項目のリサーチができていないと申請は難しいです。

留学期間	国・地域、都市名	機関名	URL
開始日: 20 年 月 日	国・地域:	英語名[任意]: 【 】	受入れ機関URL[任意]: 【 】
終了日: 20 年 月 日	都市名[任意]:	日本語名[任意]: 【 】	※以下、世界トップレベルコースのみ入力必須 ランキング等出典名・URL: 【 】 順位:【 】位
主な活動:			

④ 自由記述申請書の記入ポイント

【ポイント①】 なぜ留学に行く必要があるのか。留学によってどんな自分になりたいのか

- ・ 現在あなたはどんなステージにいますか。留学した後はどこに向かいますか。
- ・ その留学先（国・受入れ機関）である必要は何ですか。
- ・ そもそも、本当に留学しないと実現できないものですか。

【ポイント②】 自分の過去のエピソード（特に困難を克服した経験など）を明確に語る

- ・ 過去に遭遇した困難について明確に語るができますか。
- ・ その困難はどのように克服しましたか。
- ・ そのときどう感じましたか、また自分に変化はありましたか。
- ・ それをどのように留学に活かしますか。

【ポイント③】 このプログラムに対して自身がどのように貢献できるか

- ・ あなたが日本代表に選ばれることで、このプログラムにはどんなメリットがありますか。

【ポイント④】 他の応募者と比較してなにが異なるか。なぜ自分が選ばれる必要があるのか

- ・ 自分自身のことは、分かっているようで案外分かっていないものです。まずは徹底的に自己分析を行い、自分の生い立ちを明確にしてみましょう。そうすることで、過去の人生の様々な分岐点が見つかるはずです。

あなたは、それぞれの分岐点で何を考え、何を感じましたか。そして、なぜその道を選択したのでしょうか。時間をかけてじっくり考えてみましょう。

- ・ そうして浮かび上がったエピソードを人（親・兄弟・恩人・友人）に話すことも大切です。別の視点で指摘してくれるかもしれません。
- ・ 自分だけのエピソードと日本代表に選ばれる必要がある、という熱意を明確にしましょう。

⑤ その他、全体的なポイント

- ・ 審査員はあなたの留学計画書だけを読んでいるわけではありません。数十件以上の審査を担当しますので、一目見て伝わるように体裁を整えましょう。
（例）フォントには太字・下線を使用、改行をうまく活用する。
自由記述申請書は、図・写真・グラフを効果的に取り入れる。（文字だけにしない）
- ・ 専門用語ばかりになっていませんか。審査員はあなたの専門分野を理解している方とは限りません。
- ・ 誤字脱字は論外です。徹底的に確認しましょう。

⑥ トビタテ！のQ & A（参考）

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム大学生等コースについて

Q. 海外大学、大学院等への進学は支援の対象になりますか？

- 日本の大学等に在籍していることが応募要件のため、対象外となります。
※海外の大学又は大学院への進学に係る支援については以下をご覧ください。
海外留学奨学金（日本学生支援機構）https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/

Q. 奨学金の額は？返済の必要はありますか？

- 金額は渡航先により異なります。返済不要の給付型です。

Q. どんな留学計画が対象になりますか？

- 実践活動(※)が含まれている計画であれば幅広く対象となります。
（例：交換留学＋実践活動、実践活動のみなど。語学学習の留学計画は対象外）
（※）実践活動：インターンシップ、フィールドワーク、PBL など「実社会と接点」を持つ学修活動

Q. 応募時点で受入先機関が未定の場合は？

- 未定でも応募可能です。留学計画書（応募書類）に第 1 希望～第 3 希望まで記載できますので予定を記載してください。
※採用された後で留学計画書に記載のない受入先機関に変更する場合は、再審査があります。

Q. 審査基準は？学業成績、語学力は問われますか？

- 留学の「計画」と「人物」を書面と面接で審査します。
成績や語学力等の一律の基準は設けず、各自の留学計画の実現に必要なレベルがあるかどうかを審査します。

Q. 日本代表プログラムの今後の募集予定は？

- 毎年 2 回募集予定です。採用されるまで再挑戦が可能です。

Q. 日本代表プログラムの他にどんな留学奨学金がありますか？

- 文部科学省や国内外の教育機関、各種団体が、様々な奨学金を提供しています。在籍大学等の窓口で相談するなど、積極的に情報収集してください。
【参考】海外留学支援サイト <http://ryugaku.jasso.go.jp/>

応募要件について

Q. 応募要件について教えてください。

- 官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN～日本代表プログラム～」(以降、本制度)は、日本の大学・高校等に在籍する学生・生徒を対象とするものです。

応募に際して以下のような要件を設けています。

- ① 日本の国籍を有するまたは日本の永住権を取得している
- ② 留学を開始する年度の4月1日に30歳以下である
- ③ 留学計画に実践活動が含まれている
- ④ 「派遣留学生の要件」、「留学計画の要件」など、募集要項に定める要件を満たしている

※詳細は募集要項を確認してください

海外の学校に在籍中の学生等や社会人の方は対象外。海外留学支援サイト(<http://ryugaku.jasso.go.jp/>)等を参考に、自身に合った留学奨学金制度を探してください。

Q. 応募に際して注意する事項はありますか。

- 以下の点に注意してください。

- ① 本国内で行う面接審査及び事前・事後研修への参加が必須となります。ビデオ通話等での実施の予定はありませんので、指定された面接日時(原則変更不可)及び研修期間(いくつかの日程から選択可能)は日本国内に滞在する必要があります。
- ② 留学計画を教育上有益な学修と認めるかどうか、また適切な危機管理体制をとれるかどうかについては、各大学等が判断します。そのため、休学中の支援の取扱い、ワーキングホリデー・ビザ等の取扱い、留学先での活動の単位認定等については在籍大学等によって異なりますので、在籍大学等の応募要件についても必ず確認してください。
- ③ 応募時、受入先機関の受入許可書や、受入先機関との接触状況を証明する書類等の提出は必須ではありませんが、留学計画の実現可能性が高いことを証明できる文書等の写しがある場合は提出してください。また、面接審査において留学先機関への接触状況を確認する場合があります。
- ④ 障害のある学生で、面接審査等で配慮が必要な場合は、事前に在籍大学等を通じて事務局に相談してください。

留学計画・内容について

Q. 留学先での受入機関は大学に限られますか。

- 大学に限らず、研究機関、国際機関、インターンシップを受け入れる海外の企業等、幅広い機関を想定しており、選考においては、留学計画に照らして、当該機関が留学先として適当であるかどうか審査されます。

Q. フィールドワーク等、留学先に受入先機関が存在しない留学計画は支援対象ですか。

- 受入先機関のない留学計画は認められません。留学先において毎月の在籍確認等を行える受入先機関を必ず確保してください。

Q. 語学研修のみの留学計画は支援対象となりますか。

- 対象となりません。

Q. 一度の留学で複数の国を継続してまわる留学計画は支援対象となりますか。

- 支援対象となります。

Q. 新興国とは、具体的にどのような国が該当しますか。

- 今後成長が期待される国ということで、ASEAN、BRICSなどの国を想定していますが、具体的に

象となる国を限定することはしていません。

Q. OO大学は世界トップレベル大学でしょうか。世界トップレベルを示すランキングは何を使えばいいですか。

- 「QS World University Rankings (クアクアレリ・シモンズ社)」や「World University Rankings (タイムズ・ハイヤー・エデュケーション)」などの世界大学ランキングや、インパクト・ファクター等から、諸外国における世界トップレベルの大学・研究所であることを説明できる留学先機関を世界トップレベル大学等とします。

Q. 採用後や、留学途中での計画変更は可能ですか。

- 自己都合による計画変更は、留学開始前1回(計画を確定させるための申請)、留学開始後1回(留学中に発生した変更を反映するための申請)の原則計2回までです。再審査の結果、不承認と判定された場合は、支援の継続ができない可能性があります。

Q. 留学計画にない取組を追加して行うことは可能ですか。

- 再審査が必要となりますので、採用決定後に在籍大学等へ変更申請書類を提出してください。なお、計画の変更に伴う支援額の増額はできません。

Q. 留学先の実践活動先はどのように探したら良いでしょうか？

- これまでのトビタテ派遣留学生の例などを基にご紹介できるものは以下のとおりです。
 1. 教員が持っているコネクション(学内の研究室や研究者(教員)個人が持つ人脈ネットワークを活用)
 2. 企業等が独自に提供するもの(海外事業所におけるインターンシップ(取扱う企業等に相談) / 政府系機関の事業で提供されるもの / 留学エージェント等が提供するもの)また、留学大図鑑(<https://tobitate.jasso.go.jp/zukan/>)に先輩たちの留学体験が掲載されていますので、参考にしてください。

応募に係る手続について

Q. 一度の申請で、別々の留学計画を2種類応募することは可能ですか。

- 一度の申請で複数の応募を行うことは認められません。

Q. 複数のコースに併願することは可能でしょうか。

- 複数のコースへの併願は認められません。留学計画と各コースの趣旨等を勘案して、最も適切と考えるコースに応募してください。

Q. 応募後に大学から大学院(日本国内)に進学する場合や、在籍大学等が変わる場合の申請はどちらの大学で行えばよいですか。

- 他大学の大学院(日本国内)への進学や転学が決定している場合であっても、応募時の在籍大学等から申請してください。現在の在籍大学等と将来の在籍予定大学等双方において派遣留学生を支援できる体制が整っていることが支援の条件となります。

Q. 「地域人材コース」への応募方法について教えてください。

- 「地域人材コース」の募集は、「地域事業」ごとに行います。詳細は、地域人材コースのページをご覧ください。<https://www.tobitate.mext.go.jp/program/region/>

支援内容・奨学金について

Q. 面接を受けに行くための交通費や旅費は支給されますか。

- 支給されません。

Q. 複数の留学を行う計画が採用された場合、留学準備金は2回支給されますか？

- 留学準備金は15万円または25万円の定額であり、複数回の渡航でも金額は変わりません。

Q. 他団体の奨学金との併給は可能ですか。

- 他団体等から留学のための奨学金を受ける場合は、その支給月額が、本制度による支給月額を超えないことが要件となります。

複数月数分として一括で支給される場合は、その金額を本制度の奨学金支給対象月数で割った平均金額が、本制度における同一期間内の月額を超えないことが要件となります。

また、他団体の奨学金との併給を希望する場合、奨学金支給団体によっては、他の奨学金との併給を認めない可能性がありますので、併給を受けようとする奨学金支給団体に確認してください。

Q. 在籍大学や他団体から渡航費の一部を支援されるが、問題はないでしょうか。

- 6期生以降に関しては問題ありません。5期生までは、往復渡航費の一部であっても他団体等から支援を受けた場合、本制度による往復渡航費の支援は行いません。

Q. 渡航日・帰国日は留学開始・終了日から何日以内という決まりがありますか。

- 渡航日に関しては特に決まりはありません。帰国日は、留学期間終了後1ヵ月以内としています。

Q. 留学期間中の在籍確認は奨学金の支給対象月のみ行えばよいでしょうか。

- 在籍確認は、留学中の派遣留学生の学修・実践活動が適切になされているかを確認する目的で行うものです。留学期間中は、奨学金の支給対象月であるかどうかにかかわらず、所定の様式を用いて毎月在籍確認を行ってください。

選考について

Q. 大学院生、学部生いずれも対象となることですが、学部生は留学計画の質、レベルにおいて大学院生より不利になると考えられます。どのように選考するのですか。

- 選考においては、留学計画の内容とともに応募者の潜在能力（この留学によってどの程度成果を上げて自らを向上させることができるのか）を考慮することとしており、一概に学部生が不利になることはないものと考えています。

Q. 選考結果について、不合格の理由を教えてください。

- 渡選考結果に関する問い合わせについてはお答えできません。審査の観点、募集要項を参照してください。

事前・事後研修について

Q. いつ実施されますか？

- 留学の開始日によって異なります。学業に影響がないように土曜、日曜、祝日などの休日に実施する予定ですが、夏季・冬季・春季の休暇期間の平日に実施することもあります。事前研修の日程（予定）は、募集要項に記載していますので確認してください。事後研修については、年10回前後開催しており、原則として留学終了月から1年以内に参加する必要があります。

Q. 事前研修はどのような内容なのでしょうか？

- 事前研修は、派遣留学生が将来のグローバルリーダーとして成長できるよう、留学中の学びを最大化するためのカリキュラムを用意しています。主な内容として、留学計画のブラッシュアップ、海外に日本の良さを発信する日本発信プロジェクトなどが予定されています。

Q. 研修への参加は義務ですか？

- 事前研修、事後研修への参加は派遣留学生の義務です。不参加の場合や、遅刻や欠席があった場合、研修中に日本代表として相応しくない行動がみられた場合、派遣留学生としての採用の取消し又は支援の打ち切りを行うことがあります。その場合は既に支給している奨学金等の全額または一部について返納を求めることがありますので、日程を十分に調整した上、必ず出席できるようにして下さい。

留学中の安全管理について

Q. 安全上行けない国などもあると思いますが、どのように判断すればよいのでしょうか？

- 留学先が、外務省の「領事サービスセンター（海外安全相談班）」の情報提供サービス等における海外安全ホームページ上「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域は、応募要件外となります。

未来テクノロジー人材枠について

Q. 通常の理系、複合・融合系人材コースとの違いは？

- 未来テクノロジー人材枠は、
AI（機械学習等）、データサイエンス、ロボティクス、IoT、オープンソースソフトウェア、情報セキュリティ/サイバーセキュリティ、AR/VR、スーパーコンピューティング/量子コンピューティング
上記8つの先端テクノロジー領域に対して、興味を持ち、学修・研究、実験・実習やインターンシップ・フィールドワーク等の実践活動を海外で行う学生を応援する特別枠です。
- 本枠独自の魅力：
 1. 本枠の学生を中心としたテックコミュニティへの参加、ともに切磋するトビタテ生たちとの絆、得がたい人脈と交流できます。
 2. 本枠のサポーター企業が開催する勉強会・ハッカソンなどのイベントなどを定期的に案内します。
 3. 本枠のサポーター企業が実施する国内外のインターンシップ情報を定期的に案内します。

Q. 審査基準は？学業成績、語学力は問われますか？

- 審査は、「人物」と「計画」の2つの観点から、応募書類と面接を通して行います。成績や語学力等については一律の基準を設けず、各自の留学計画の実現に必要なレベルであるかどうかを審査します。
また、当枠においては、専門性や実績を重視して評価を行うため、自身の専門分野における学習状況や成果・実績を証明する書類（例：推薦状、過去の実績、論文のアブストラクト、研究実績や学習活動の詳細等、形式不問）を添付する必要があります。詳細は募集要項を確認してください。当枠の面接審査を担当する選考委員は、学生の専門性を評価するため、支援企業の研究員、エンジニア等を予定しています。

Q. 募集人数は何名ですか？

- 理系、複合・融合系人材コースの募集人数のうち、年間100名程度の採用を予定しています。（50名程度/期）

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム お問い合わせ

➤ 留学相談室（駒沢キャンパス3号館5階）

個別相談を事前予約（右記QRコードから）するか、直接お越しください。

月～金（祝日を省く）11:00-13:00 / 14:00-17:30

※2019年前期の開室は **7/25まで**！（長期休暇期間は閉室）



予約フォームQRコード

➤ 駒澤大学国際センター事務室（深沢キャンパス2F）

メールにてお問い合わせください。

E-mail: tobitate@komazawa-u.ac.jp

※件名に【トビタテ12期応募、氏名、学生番号】を必ず記入すること。